

舞洲工場における広域処理終了後の放射能濃度測定結果

焼却灰等の放射能濃度測定結果

		本格焼却中	広域処理終了後					単位
試料採取日		平成25年2月～9月	平成25年9月27日	平成25年10月7日	平成25年10月31日	平成25年11月12日	平成25年12月6日	
主灰		不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	ベクレル/kg[<i>wet</i>]
飛灰(薬剤処理後)	セシウム134	-	不検出	不検出 (5)	不検出 (6)	不検出 (7)	不検出	ベクレル/kg[<i>wet</i>]
	セシウム137	-	不検出	8	11	9	不検出	
	合計値	不検出～21	不検出	13	17	16	不検出	
	乾き換算値	不検出～26	不検出	16	20	20	不検出	ベクレル/kg[<i>dry</i>]
排水		不検出	-	不検出	-	不検出	不検出	ベクレル/L
排水汚泥		不検出	-	不検出	-	不検出	不検出	ベクレル/kg[<i>wet</i>]

・本格焼却中の詳しいデータはこちらをご覧ください。(リンク)

・「大阪府域における東日本大震災の災害廃棄物処理に関する指針」の基準値:2,000ベクレル/kg(主灰、飛灰、排水汚泥)

・主灰:焼却した際の燃え残り(燃え殻)

・飛灰:焼却の際に排ガス中に含まれる灰分(ばいじん)

・試験処理における飛灰の放射能濃度は、大阪市の通常ごみに岩手県の木くず等を概ね20%混合して焼却した場合が38 ベクレル/kgで、大阪市の通常ごみのみを焼却した場合と同程度(37 ベクレル/kg)であり、かつ、基準を満たしていた。

不検出の場合の()書きは、検出下限値を示す。

合計値は、セシウム134またはセシウム137のどちらかが不検出の場合、より安全側に立った評価とするため、検出下限値を用いて計算した。